

平成24年度 入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 生涯健康教育コース

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

肥満は、放置し続けると生活習慣病の発症・重症化に繋がり、個人的にはQOLの低下、社会的には医療費の高騰を招くなど、肥満問題はいまや世界共通の健康課題となっている。

沖縄県はかつて世界に誇れる長寿地域であったが、2004年には肥満者の割合が男女ともに全国1位であることが報告され「沖縄の長寿」に警鐘がならされた。成人男性の肥満者は47%、およそ2人に1人がかつ内臓脂肪型肥満であり、成人女性肥満者の割合も26%、4人に1人である。さらには青年期以下の若年者層においても肥満者は増加・重症化してきており、肥満問題は本県の健康施策においても重点課題となっている。

そこで、メタボリックシンドロームの概念に基づいた肥満と生活習慣病発症の関係について述べ、さらに沖縄の肥満対策についてあなたの考えを1000字以上、1200字以内で記述して下さい。解答には次のキーワードを必ず使用すること。

内臓脂肪蓄積	メタボリックシンドローム	危険因子の重積	睡眠	運動
心血管疾患	ライフスタイル	食の正しい知識	健康教育	脂肪摂取量

平成24年度 入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 生涯健康教育コース

出題の意図

肥満の問題は、肥満を放置し続けることにより生活習慣病発症の危険因子である血圧、血中トリグリセライド、LDLコレステロール、血糖などの上昇やHDLコレステロールの低下がドミノ式に起こり、これら危険因子の重積が高血圧症、脂肪肝、糖尿病などを容易に発症・増悪させ、さらには心筋梗塞などの心血管病を惹起することにある。反面、肥満の改善はこれら疾患の危険因子を減らし発症や重症化予防に繋がる。すなわち、適正な体重維持は健康の礎である。これらの内容については、「内臓脂肪型肥満」「メタボリックシンドローム」などのキーワードで新聞、テレビなど、メディアを通して多くの情報が提供されている。本コース受験生は、将来の職業として栄養教諭、栄養士、管理栄養士および体育教諭など「食・健康に関する教育および指導の中心的な担い手」として活躍する人材である。そのことを踏まえて、多くの情報の中から自分自身に必要な情報を的確に捉える力や関心度、理解度を問う。